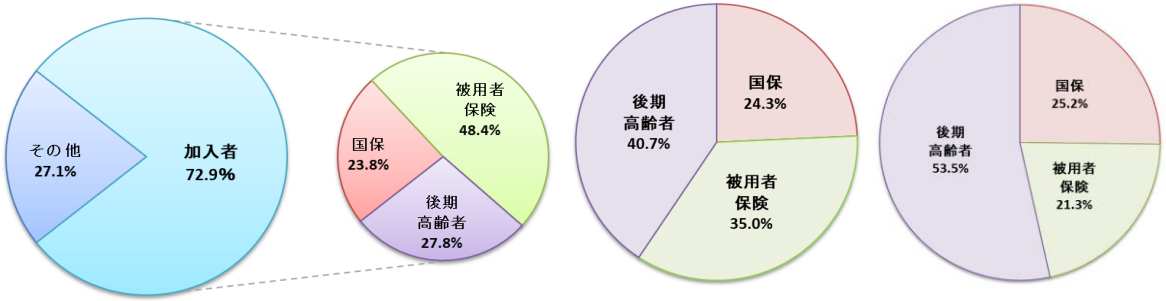
県内19市町村国民健康保険、島根県医師国保組合、全国健康保険協会島根支部、島根県市町村職員共済組合、後期高齢者医療広域連合の令和6年5月診療分レセプトデータを分析しました。

1．加入者数、レセプト件数、費用額

【島根県人口　約64万人】　【加入者　約47万人】【レセプト件数　約49万件】【費用額　約193億円】



2．１人当たり費用額

制度	性別	入院(円)	入院外(円)	歯科(円)	合計(円)
国保	男性	24,243	23,229	1,942	49,414
	女性	15,838	19,845	2,327	38,010
	計	19,931	21,493	2,140	43,563
被用者保険	男性	5,722	10,967	1,503	18,193
	女性	5,163	11,217	1,808	18,187
	計	5,443	11,092	1,655	18,190
後期高齢者	男性	48,827	39,873	2,325	91,025
	女性	39,696	30,075	2,069	71,840
	計	43,234	33,871	2,168	79,273
合計	男性	20,299	20,703	1,802	42,804
	女性	18,618	19,205	2,010	39,833
	計	19,401	19,903	1,913	41,218

約47万人のデータを分析対象としました。これは島根県の人口の約73%を占めています。
レセプト件数は約49万件、費用額は約193億円でした。費用額のうち後期高齢者の占める割合が最も高く、加入者数に占める後期高齢者の割合を大きく上回っています。
１人当たり費用額は、男女別にみると男性が高く、診療区分別では入院外が最も高い状況です。

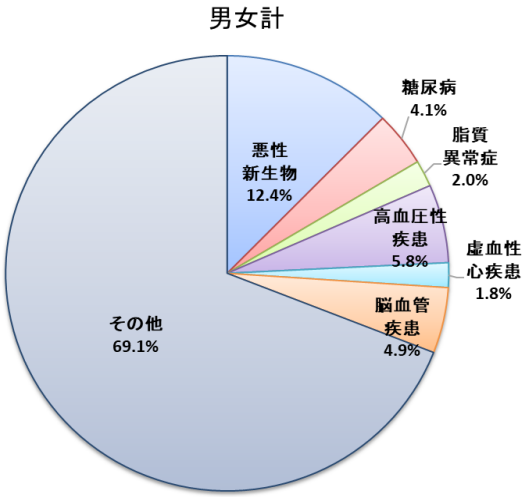
3．疾病別医療費（中分類別１人当たり費用額上位１０疾病）

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
男女合計（制度計）	高血圧性疾患	他の悪性新生物＜腫瘍＞	他の心疾患	歯科	骨折	糖尿病	腎不全	他の消化器系	脳梗塞	他の神経系
男性	他の悪性新生物＜腫瘍＞	高血圧性疾患	他の心疾患	腎不全	糖尿病	歯科	脳梗塞	他の消化器系	虚血性心疾患	他の呼吸器系
女性	高血圧性疾患	骨折	歯科	他の心疾患	糖尿病	他の悪性新生物＜腫瘍＞	他の消化器系	関節症	統合失調症，妄想性障害	脂質異常症
国保	他の悪性新生物＜腫瘍＞	統合失調症，妄想性障害	歯科	高血圧性疾患	腎不全	糖尿病	他の神経系	他の心疾患	他の消化器系	気管，肺の悪性新生物＜腫瘍＞
被用者保険	歯科	高血圧性疾患	他の悪性新生物＜腫瘍＞	他の消化器系	糖尿病	他の心疾患	他の神経系	良性新生物・他の新生物＜腫瘍＞	脂質異常症	皮膚炎・湿疹
後期高齢者	高血圧性疾患	他の心疾患	骨折	他の悪性新生物＜腫瘍＞	糖尿病	脳梗塞	腎不全	他の呼吸器系	他の消化器系	歯科

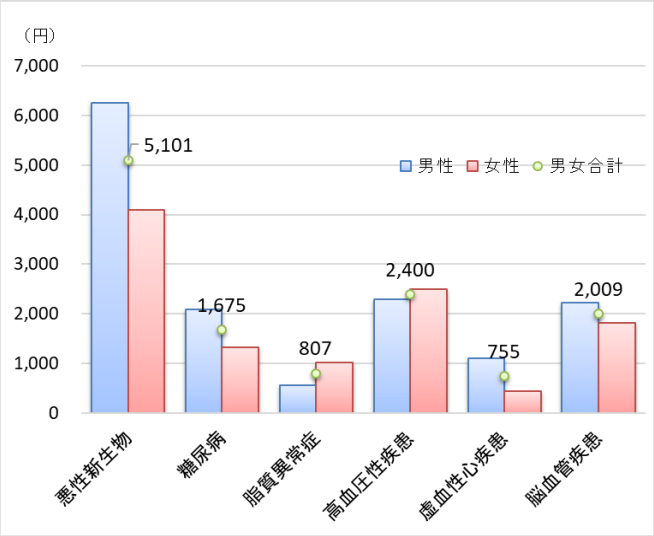
中分類による1人当たり費用額は、「高血圧性疾患」が最も高い状況です。男女別にみると、男性は「他の悪性新生物」、「高血圧性疾患」、「他の心疾患」、女性は「高血圧性疾患」、「骨折」、「歯科」が高い状況です。
制度別にみると、国保は「他の悪性新生物」、被用者保険は「歯科」、後期高齢者は「高血圧性疾患」が最も高い状況です。

４．生活習慣病

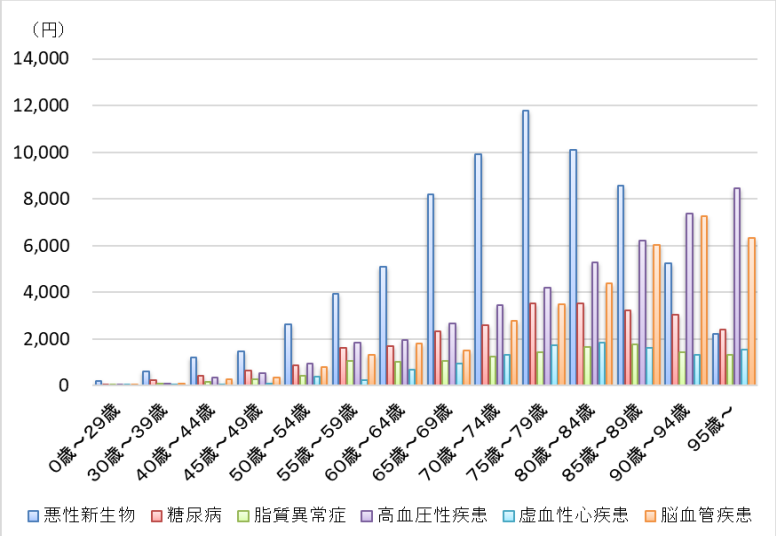
【費用額に占める生活習慣病の割合】



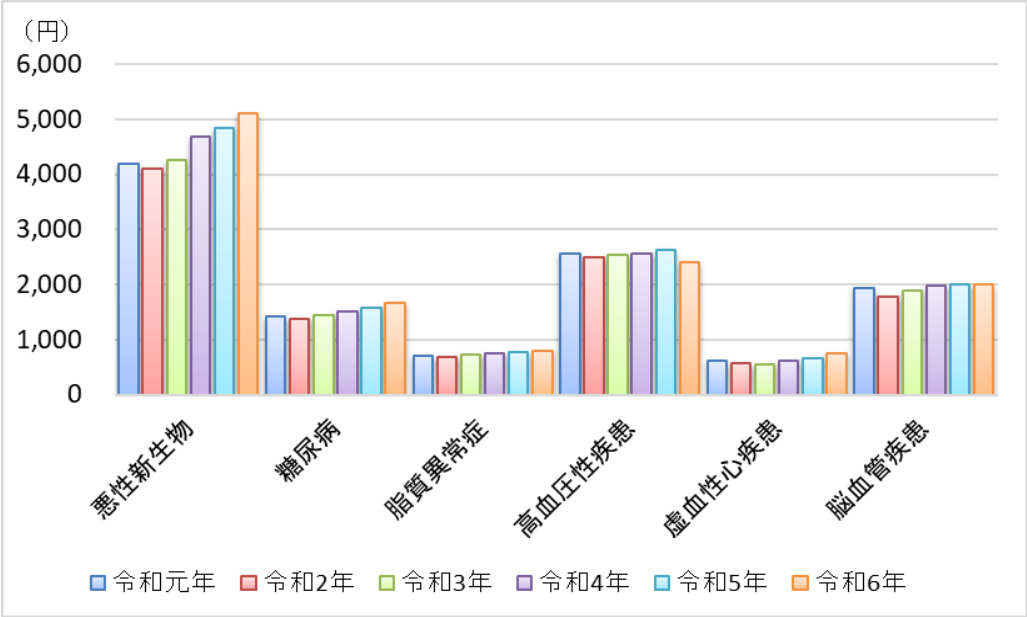
【男女別１人当たり費用額】



【年齢階層別生活習慣病１人当たり費用額（男女計）】



【生活習慣病１人当たり費用額の経年変化（男女計）】



費用額に占める生活習慣病の割合は、男女計で約31％を占めています。内訳は、「悪性新生物」が最も高く、次いで「高血圧性疾患」です。

１人当たり費用額を男女別に比較すると、「脂質異常症」及び「高血圧性疾患」は女性が高く、その他の疾病については男性が高い状況です。

年齢階層別にみると、「悪性新生物」以外の疾病は加齢とともに増加の傾向がみられますが、「悪性新生物」は75歳～79歳までは増加し、以降減少に転じています。

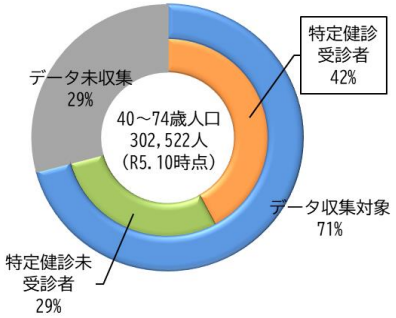
経年でみると、新型コロナ感染症の影響からか令和2年度はいったん減少しましたが、その後は全ての疾病が増加傾向にあります。

「高血圧性疾患」は、前述のとおり中分類別1人当たり費用額が最も高く、脳血管疾患や腎不全も高いことから、高血圧性疾患を含めた生活習慣病の罹患予防及び重症化予防対策が必要と考えられます。

県内19市町村国民健康保険、島根県医師国民健康保険組合、全国健康保険協会島根支部、島根県市町村職員共済組合の令和５年度特定健康診査結果データを分析しました。
分析に有効なデータすべてを対象としているため法定報告値とは異なります。

１．データの収集状況

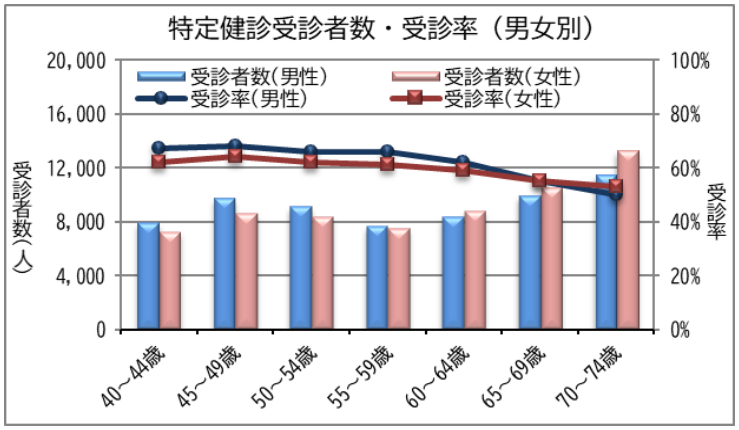
令和５年人口に占めるデータ収集状況



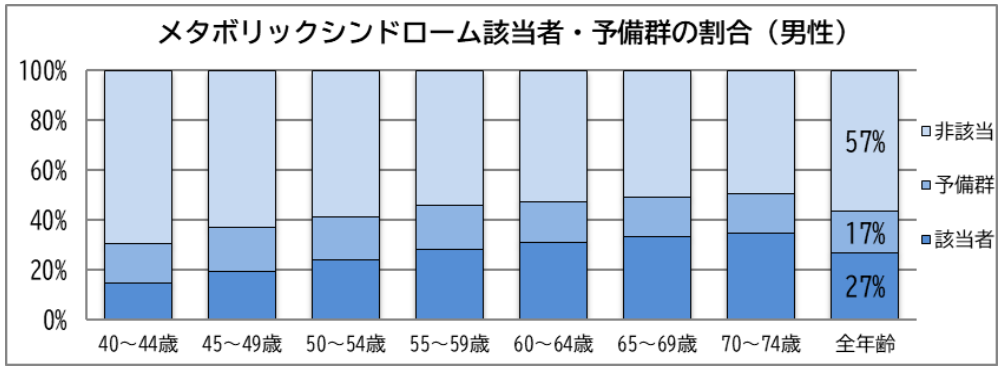
※人口：しまね統計情報データベースから

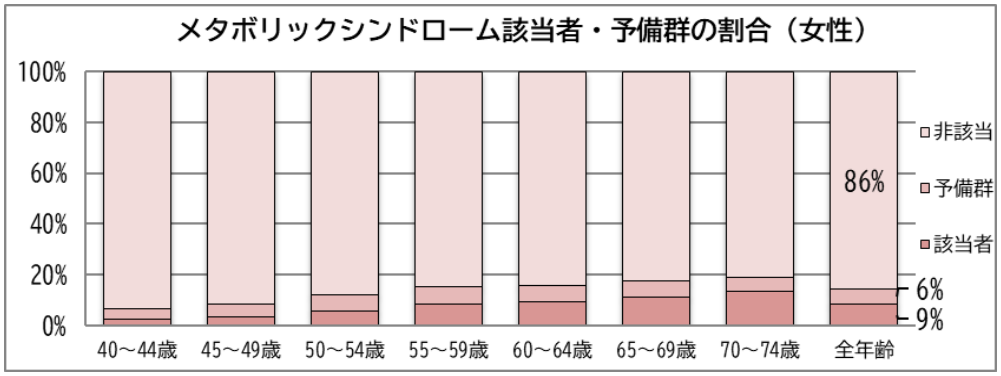
２．特定健診対象者数等

制度	性別	特定健診対象者数（人）	特定健診受診者数（人）	受診率（%）
国保	男性	45,416	17,639	38.8
	女性	48,696	22,574	46.4
	計	94,112	40,213	42.7
被用者保険	男性	59,837	46,208	77.2
	女性	60,573	41,329	68.2
	計	120,410	87,537	72.7
合計	男性	105,253	63,847	60.7
	女性	109,269	63,903	58.5
	計	214,522	127,750	59.6



３．メタボリックシンドローム該当者・予備群の状況

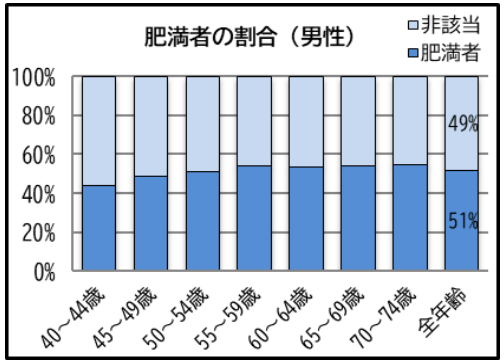


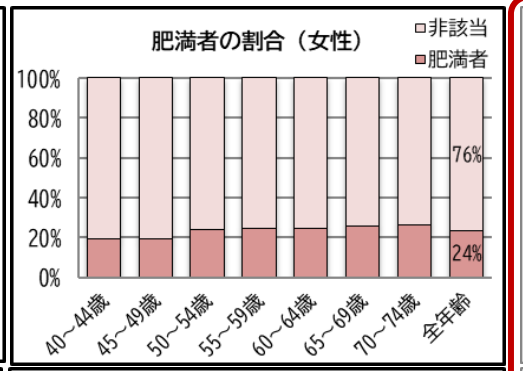


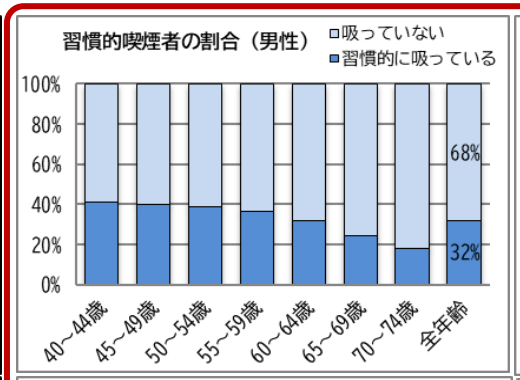
本統計で取り扱う健診結果データは、令和５年10月時点における島根県の40～74歳人口約30万人のうちの４割に相当します。
本統計における受診率は、県全体 59.6%（国保 42.7%、被用者保険 72.7%）です。
受診者数及び受診率を性年齢階層別にみると、男女とも受診者数は70～74歳が最も多くなっていますが、受診率は年齢が高くなるに追れ低くなっています。
メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合は、全ての年齢層で男性が女性を大幅に上回っています。

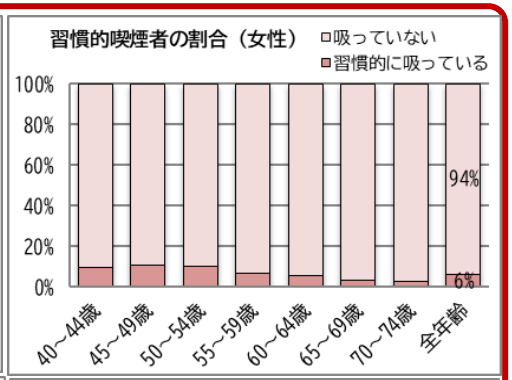
4．検査等結果の状況

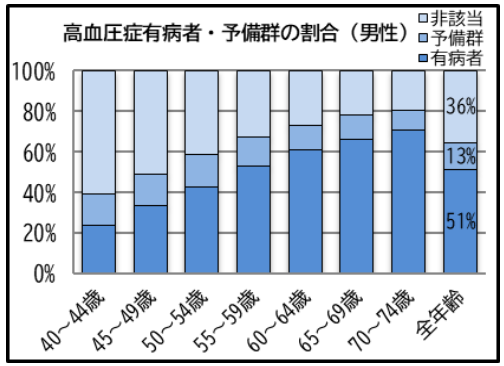
※赤枠は生活習慣に係る項目（質問票から）

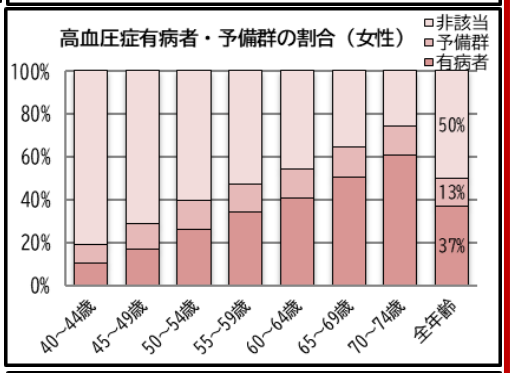


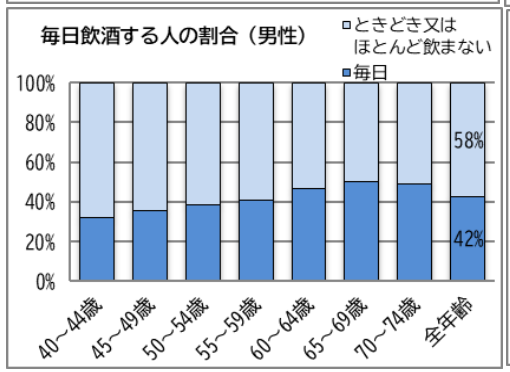


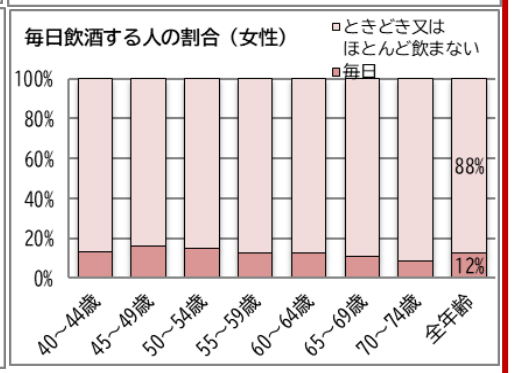


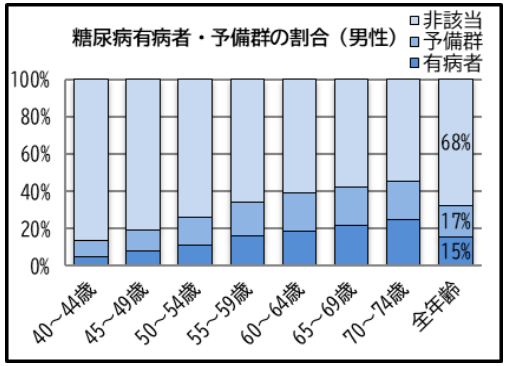


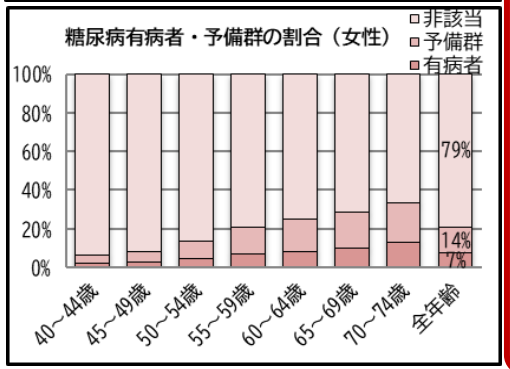


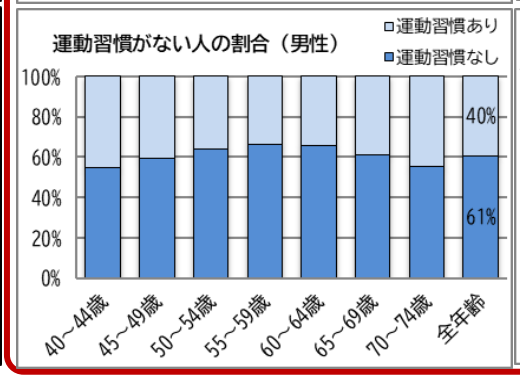


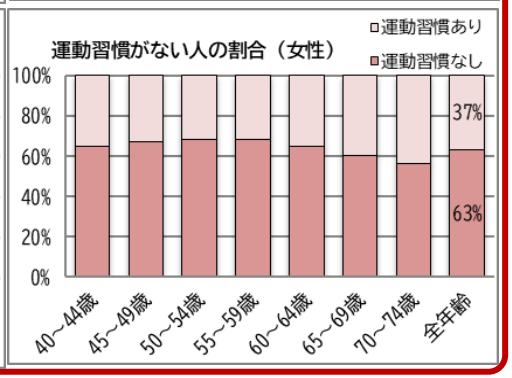












健診結果を男女別にみると、男性の肥満者の該当割合が高く、約半数が肥満に該当しています。
なお、高血圧及び糖尿病についても有病者・予備群該当の割合は、ほとんどの年齢で男性が高い状況です。
また、生活習慣の面においても、男性は毎日飲酒する、喫煙習慣がある、運動習慣がない人の割合が高い状況にあります。

生活習慣病のリスクは加齢に伴い増加していくため、運動や飲酒等、生活習慣の見直しによるリスク軽減に向けた取り組みが求められます。